



# 第57回建築士会全国大会 「ふくしま大会」のご案内



松隈仁吉

Jinkichi Matsukuma

第57回建築士会全国大会  
「ふくしま大会」実行委員長  
公益社団法人福島県建築士会 会長

## 建築士の決断「ならぬことは ならぬものです」 ふくしまで語ろう 建築・絆・再生

福島県は全域が美しい景観と自然の恵みが豊かな土地です。

平成23年3月11日午後2時46分。私たちは決して忘れません。

M9.0の巨大地震と大規模な津波により、東日本全体は大きな被害を受け、私たちの美しい“ふくしま”の自然も、浜通りを中心として一変してしまいました。また、東日本大震災により多くの尊い生命や生活が奪われ、地域社会・地域経済が甚大な被害を受けたことは言うまでもありません。

さらに、地震・津波の被害だけにとどまらず、東京電力福島第一原子力発電所の炉心溶融事故による放射能汚染、それに伴う風評被害など、“ふくしま”は今まで経験したことがない困難な状況に直面させられました。3年の長い時が過ぎた今も問題は一層深まり、今なお13万7千人余りの方々が「ふるさと」を離れ、県内外に避難されています。

これらの現実を少しでも共有していただき、“ふくしま”が少しずつでも前に進めるよう全国の建築士の皆様に「力」を貸していただき、第57回建築士会全国大会を福島県建築士会主催にて開催することとしました。

テーマにある「ならぬことは ならぬものです」は、会津藩士たちが子どもの頃に教えられた「什の掟」の最後の一文です。他から言われてするのではなく、自らが制約や強制を受けずに「我々はこうあるべき」との信念のもと、互いに約束し、励まし合うという教えです。正しいことは断固として正しいとの決意でもあります。私たち建築士も強い決意（誓い）を忘れずに、これからの建築のあり方・地域再生のあり方・地域らしさを失わない復興のあり方等々自ら考え、テーマ「建築・絆・再生」の言葉を宣言するものです。地域の復興・再生の一助となることを願って……。

さて、今大会では震災復興を中心に防災・減災のまちづくりに焦点を絞り、建築士ができること、やらねばならぬことを青年・女性建築士のセッションにて掘り下げる予定です。みんな考えて大局を見据えつつ、できることから実行したいものです。

記念講演では、次世代を担う新しい技術について講演をしていただきます。日本国や福島県が抱える省エネルギー、次世代エネルギー、再生可能エネルギーについて考える新たなヒントを得られると考えます。新技術や新しい挑戦に共感し、勇気やチャレンジスピリッツに感動していただけるかと思えます。

最後になりましたが、震災後、多くの困難に立ち向かっている皆様に心から敬意を表すとともに、全国からの多くの支援に心から感謝し結びと致します。

ぜひ、多くの皆様に「うつくしま ふくしま」にお越しいただけるのを、会員一同心からお待ちいたしております。